

授業科目名： 生涯学習論	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 古壕典洋 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	なし		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 (1) 日本社会が抱える問題と学びの意義 (2) (地域)社会と当事者性 (3) 学校と地域のかかわりとながり (4) 生涯学習の場と自治の創造 (5) 生涯学習と福祉の結合 (6) 働くことと共生 (7) 生きることと学び (8) 星槎の3つの約束と生涯学習			
授業の概要 「いつでも・どこでも・だれでも」の学びの当事者性に注目し、学習者の共通の特性とその特性を生かした学習理論、さらには学びを支え・学びに支えられる地域コミュニティのあり方について検討する。			
授業計画 第1回：日本社会が抱える課題と生涯学習 第2回：地域コミュニティと学び 第3回：学校と地域のかかわりとながり 第4回：学校の公共性とは？ 第5回：アソシエーションの可能性 第6回：社会教育施設と自治の創造 第7回：オンラインでの学びとコミュニティの形成 第8回：教育と福祉の結合 第9回：職業的社会化をめぐる 第10回：「地方」と「都市」の非対称性 第11回：共生としての生き方 第12回：多様化する学びの方法と場 第13回：余暇と学び 第14回：学びの当事者性 第15回：望みとしての生涯学習			
スクーリングでの学修			
テキスト 牧野篤編（2022）『社会教育新論:「学び」を再定位する』ミネルヴァ書房、978-4623093366			
参考書・参考資料等 三輪建二（2023）『わかりやすい省察的实践：実践・学び・研究をつなぐために』医学書院、978-4260051156			
学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			